



西海市

# 議

# だより 会

No.  
55

2019年8月5日  
発行

崎戸橋(崎戸町)  
撮影:山本光明氏  
(崎戸町)

## おもな内容

|              |             |
|--------------|-------------|
| 令和元年第2回議会定例会 | ……………P2~P3  |
| 委員会委員の紹介     | ……………P4     |
| 常任委員会審査報告    | ……………P5~P6  |
| 一般質問         | ……………P7~P11 |
| 常任委員会調査報告ほか  | ……………P12~14 |
| 市民の声         | ……………P15    |
| 議会クイズ、編集後記   | ……………P16    |

# 令和元年第2回議会定例会

会期：令和元年6月14日～6月25日（12日間）

## 定例会の概要

第2回定例会では、24件（報告案件13件を含む）の議案が提出され、そのうち2件の議案について、2名の議員から総括質疑がありました。

また、委員会付託された11件の議案については、各委員会において審査されました。（各委員会審査の概要は5、6ページに掲載。）

また、委員会発議により、内閣総理大臣ほか関係各大臣等に対する意見書提出議案として、「LCCの夜間飛行訓練禁止を求める意見書」、「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「本市における再生可能エネルギーの現状と今後について」、産業建設常任委員会から「地域資源を生かした大学及び研究機関の誘致の可能性について」、厚生常任委員会から「国民健康保険事業、後期高齢者医療事業及び介護保険事業の運営状況について」、「直営診療施設の現状と課題について」の申出があり、決定されました。

このほか、議員研修に伴う議員派遣についても決定されました。

## 第2回議会定例会賛否一覽

※意見が分かれた議案等を掲載しています。

| 議案名   | 会派<br>西海市<br>議会<br>日本共産<br>党 | 創生会 |       |        |       |       |       |       | 自民党眞清<br>の会 |       | 保守<br>無所属の会 |      | 国民主<br>西海 |       | 志政会   |       | 令政会   |       | 会派<br>所属<br>なし  | 議決結果     | 賛成<br>・<br>反対 |
|---|------------------------------|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|----------|---------------|
|   |                              | 議員名 | 淵瀬 栄子 | 佐嘉田 敏雄 | 杉山 誠治 | 浅田 直幸 | 宮本 一昭 | 小嶋 俊樹 | 中尾 清敏       | 戸浦 善彦 | 朝長 隆洋       | 中里 悟 | 田嶋 耕太     | 清水 正明 | 平井 満洋 | 内野 繁樹 | 田川 正毅 | 岩本 利雄 |                 |          |               |
| 議案第38号<br>財産の取得について                                 | 退席                           | ○   | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○           | ○     | ○           | ●    | ○         | ○     | ○     | ○     | ●     | ●     | 議長は採決に<br>加わらない | 原案<br>可決 | 13：3          |
| 議案第45号<br>西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | ●                            | ○   | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○           | ○     | ○           | ○    | ●         | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 議長は採決に<br>加わらない | 原案<br>可決 | 15：2          |

○：賛成 ●：反対

### 討論の要旨

議案第38号 財産の取得について

#### 反対討論

●清水正明 議員

開発で土地の形状が変わった後に計画されている河川区域を、土地の形状が変わる前の現況地目若しくは公簿地目で評価し買収することは、国土交通省が主催する用地対策連絡会で決定された公共用地の取得に伴う損失補償基準における「正常な取引価格」での用地取得ではないと思われることから、反対する。

議案第45号 西海市消費税率および地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

#### 反対討論

●淵瀬栄子 議員

一般会計に関するものは、消費税法第60条第6項の規定により、歳出に係る消費税負担と歳入に係る消費税分を同額に見て免除されていることや、一人暮らし世帯や高齢者世帯等に配慮した基本水量の項目の細分化の研究がなされないまま、逆進性のある消費税率10パーセントの負担を求めることは認められないと考え、反対する。

## 意見書の要旨

次の意見書を国に提出しました。

### 「LCCの夜間航行訓練禁止を 求める意見書」

米海軍横瀬貯油所内に配備されているエアクッション型揚陸艇（LCC）の夜間航行訓練については、本市議会の抗議活動を受けてなお、平成29年11月に強行に開始され、これまで抗議文及び意見書を国へ提出してきましたが、本年4月16日及び17日の夜間航行訓練では日没時間を大きく過ぎていたことから、米軍に対し、本市の意見を伝え、訓練計画の見直しと今後、二度と夜間航行訓練が実施されないよう調整することを改めて国に要望しました。

### 「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」

過疎地域自立促進特別措置法の令和3年3月末失効を受け、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要であると考えることから、新たな過疎対策法の制定を国に要望しました。

## 令和元年第2回議会定例会で審議した案件及び結果

| 議案等番号  | 件名   | 付託委員会等 | 議決の結果 |
|--------|--|--------|-------|
| 報告第2号  | 西海市介護保険条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について               | 本会議    | 承認    |
| 報告第3号  | 西海市税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について                  | 本会議    | 承認    |
| 報告第4号  | 西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について            | 本会議    | 承認    |
| 報告第5号  | 平成30年度西海市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認について                 | 本会議    | 承認    |
| 報告第6号  | 平成30年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について           | 本会議    | 承認    |
| 報告第7号  | 平成30年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について            | 本会議    | 承認    |
| 報告第8号  | 平成30年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について         | 本会議    | 承認    |
| 報告第9号  | 平成30年度西海市水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について               | 本会議    | 承認    |
| 報告第10号 | 平成30年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について                     | 本会議    | 報告済み  |
| 報告第11号 | 平成30年度西海市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について                | 本会議    | 報告済み  |
| 報告第12号 | 平成30年度西海市工業団地整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について             | 本会議    | 報告済み  |
| 報告第13号 | 平成30年度西海市水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について                 | 本会議    | 報告済み  |
| 報告第14号 | 平成29年度決算に係る財務書類4表の報告について                           | 本会議    | 報告済み  |
| 議案第37号 | 西海市過疎地域自立促進計画の変更について                               | 総務文教   | 原案可決  |
| 議案第38号 | 財産の取得について  | 総務文教   | 原案可決  |
| 議案第39号 | 西海市林業振興基金条例の制定について                                 | 産業建設   | 原案可決  |
| 議案第40号 | 市道の路線廃止について  | 産業建設   | 原案可決  |
| 議案第41号 | 西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について                           | 厚生     | 原案可決  |
| 議案第42号 | 西海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 厚生     | 原案可決  |
| 議案第43号 | 令和元年度西海市一般会計補正予算（第1号）                              | 予算決算   | 原案可決  |
| 議案第44号 | 令和元年度西海市介護保険特別会計補正予算（第1号）                          | 厚生     | 原案可決  |
| 議案第45号 | 西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について          | 総務文教   | 原案可決  |
| 議案第46号 | 西海市防衛施設周辺自治会運営支援事業基金条例の制定について                      | 総務文教   | 原案可決  |
| 議案第47号 | 工事請負契約の締結について（西彼地区デジタル同報系防災行政無線施設整備工事）             | 総務文教   | 原案可決  |



# 各委員会委員が変わりました

※「庁舎建設等に関する調査特別委員会」は、改選はありません。

## 議会運営委員会



委員長  
浅田 直幸



副委員長  
岩本 利雄



委員  
田川 正毅



委員  
小嶋 俊樹



委員  
戸浦 善彦



委員  
田崎 耕太

## 常任委員会

### 総務文教常任委員会



委員長  
田崎 耕太



副委員長  
中尾 清敏



委員  
浅田 直幸



委員  
平井 満洋



委員  
淵瀬 栄子



委員  
清水 正明

### 産業建設常任委員会



委員長  
田川 正毅



副委員長  
中里 悟



委員  
宮本 一昭



委員  
佐嘉田 敏雄



委員  
永田 良一



委員  
朝長 隆洋

### 厚生常任委員会



委員長  
戸浦 善彦



副委員長  
内野 繁樹



委員  
岩本 利雄



委員  
小嶋 俊樹



委員  
杉山 誠治

### 予算決算常任委員会

朝長 隆洋  
淵瀬 栄子  
宮本 一昭  
佐嘉田 敏雄  
浅田 直幸  
岩本 利雄

委員長  
副委員長  
委員  
委員  
委員

永田 良一  
田川 正毅  
平井 満洋  
小嶋 俊樹  
中尾 清敏  
戸浦 善彦

委員  
委員  
委員  
委員  
委員

中里 悟  
田崎 耕太  
内野 繁樹  
杉山 誠治  
清水 正明

委員  
委員  
委員  
委員

### 基地対策特別委員会

佐嘉田 敏雄 委員長  
小嶋 俊樹 副委員長  
宮本 一昭 委員  
浅田 直幸 委員  
田川 正毅 委員  
中尾 清敏 委員  
戸浦 善彦 委員  
清水 正明 委員

### 議会広報広聴委員会

淵瀬 栄子 委員長  
杉山 誠治 副委員長  
宮本 一昭 委員  
岩本 利雄 委員  
永田 良一 委員  
中尾 清敏 委員  
朝長 隆洋 委員

### 長崎県後期高齢者医療 広域連合議会議員

戸浦 善彦議員

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、条例案2件、その他議案3件の審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第45号 西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について  
原案可決

この議案は、国の消費税法等の改正により、令和元年10月1日以降、消費税及び、地方消費税の税率が8%から10%に改定されることに伴い、消費税法において課税対象となっている施設の使用料や手数料、水道料金などについて、増税される消費税相当分を加算する必要が生じたため、所要の改正を行うものです。

なお、この議案の審査は、産業建設及び厚生常任委員会との連合審査で行いました。連合審査における主な質疑は次のとおりです。

**質疑** 平成27年度に産業建設常任委員会で水道料金改定の審査を行った折に、同委員会が一人暮らしや高齢者世帯等に配慮した基本水量の項目の細分化の研究やコスト縮減、有収率や料金徴収率の改善等のさらなる経営努力を求めたが、細分化の研究はなされないまま、消費税率10%を転嫁するのか。

**答弁** ご指摘のとおりです。

議案第38号 財産の取得について  
原案可決

この議案は、大島工業団地整備事業において付替え河川造成のために必要となる土地について、公共の用に供する財産として取得するものです。



工事中の大島工業団地（大島町）

議案第46号 西海市防衛施設周辺自治会運営支援事業基金条例の制定について  
原案可決

この議案は、防衛施設の設置及び運用により影響を受ける自治会に対して円滑な運営及び活動の活性化を支援するために、特定防衛施設周辺整備調整交付金を財源とした基金を設置するものです。対象となる自治会は九州防衛局が対象地区と認めている西海町横瀬東自治会、横瀬西自治会及び寄船自治会です。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、条例案1件、その他議案1件の審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第40号 市道の路線廃止について  
原案可決

この議案は、西海町丹納郷の山内線及び水浦1号線について、西海町丸田地区の農地整備事業における区画整備により、市道と認定していた山内線と水浦1号線が今回消滅したため路線の廃止を行うものです。

**質疑** 区画整備により新たに整備された道路は、今後どのように管理するのか。

**答弁** 農道または耕作道という形で管理をしていただく。

議案第39号 西海市林業振興基金条例の制定について  
原案可決

この議案は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の成立・施行に伴い、基金として適切に管理し、森林の整備及びその促進に関する施策の支援等に使用するため、地方自治法の規定により条例を制定するものです。

**質疑** 森林環境税を納付すべき者は、現在、納税をしている全ての者が納めるといふことになるのか。

**答弁** 森林環境税は令和6年度から課税される国税で、納税義務者等

は、国内に住所を有する個人となっている。

税額は、年額1000円で、市町村で個人住民税とあわせて賦課徴収することになっている。ただし、納税義務者については、生活保護法に基づく生活扶助を受けている方、障がい者や未成年者など法に定める要件にある方は課税対象外となる。



整備された農地（西海町丸田地区）

## 厚生常任委員会

厚生常任委員会では、補正予算案1件、条例案2件の審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

**議案第41号 西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

この議案は、平成31年3月29日に地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことにより西海市税条例等の一部改正を行うものです。

主な改正内容は、令和元年10月1日から自動車取得税の廃止に伴い、軽自動車の燃費性能等に応じて購入時に課税される「環境性能制」が導入され、また、現行の軽自動車税に相当する分が「種別制」に名称が変更されることに伴う改正を行うもので、このため新たな軽自動車税は、「環境性能制」と「種別制」で構成されることとなります。

併せて、子どもの貧困に対応するための個人市民税の非課税対象者の拡大等に係る改正を行うものです。

委員からは、市民への広報の際は、分かりやすくすべきとの要望がありました。



**議案第42号 西海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

この議案は、本条例の基準である国の省令の一部を改正する省令が、平成31年4月1日付で施行されたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件について、都道府県知事に加えて指定都市の長が行う研修についても、本市において支援員の研修を修了したものと認めるものです。

**議案第44号 令和元年度西海市介護保険特別会計補正予算（第1号）**  
原案可決

補正の主な内容は、本年度から低所得者の第1号保険料軽減強化により、第1段階から第3段階の保険料がなされたことによる介護保険料の減額と、それに伴う一般会計繰入金を計上しています。また、歳出は、介護保険システム改修委託料を計上しており、保険事業勘定の既存の予算に68万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額は37億3878万円となるものです。

## 予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、補正予算案1件の審査を行いました。主な審査の内容は次の通りです。

**議案第43号、令和元年度西海市一般会計補正予算（第1号）**  
原案可決

|              |              |
|--------------|--------------|
| <b>〔補正額〕</b> | 216億9632万6千円 |
| <b>補正前</b>   | 6億888万4千円    |
| <b>追加額</b>   | 223億521万円    |
| <b>補正後</b>   |              |

### 〔歳出〕 主な事業の内訳

- ・国の政策に基づく低所得者、子育て世帯向けのプレミアム付商品券事業
- ・本年10月からの幼児教育無償化に伴う経費のほか副食費助成制度の新設にかかる経費
- ・繁殖牛舎の整備にかかる畜産クラスター構築事業

**質疑** プレミアム付商品券事業補助金の対象者は。

**答弁** 1万7000人を想定している。事業費2億7761万2000円は、2万円で2万50000円の換金ができるプレミアム券の人数分の総額と印刷費などの合計額である。

**質疑** 10月からの幼児教育無償化では、国・県・市の負担割合は。

**答弁** 認可保育所及び認定こども園は「子どものための教育・保育給付費」として、私学助成の幼稚園は「子

育てのための施設等利用給付費」として、それぞれ国2分の1、県4分の1、市4分の1の財源構成となる。なお、公立保育所及び幼稚園は全額、市の一般財源となる。

**質疑** 幼児教育保育無償化に合わせて副食費の負担が出てくると思うが、対象となる人数と副食費を負担しなければいけない子どもの人数は。

**答弁** 一定の所得階層以上の子どもについて、3歳以上児は副食費用を目安として4500円を施設が徴収する仕組みであり、その対象は290名。市では同時入所2人目あるいは中学校以下第3子以降について、これまで同様保育料を無償とするため、10月からも市独自で副食費を助成する。その対象は130人程度となる見込みである。

**質疑** 畜産クラスター構築事業の内容は。

**答弁** 仔牛の牛舎3棟、肥育牛舎2棟、堆肥舎1棟及び付帯設備の外、哺乳ロボットなどの導入を予定しており、補助対象事業費3億510万円のうち、国費が1億5255万円、県費が3051万円、市補助金は1千万円を計上している。







# 一般質問



いわもととしお 議員  
**岩本 利雄**

## 人口減少が進む中 人件費を極力抑えよ

**問** 合併当初約3万3500人だった人口も、現在は2万8000人を切っている状況で、税収や使用料等の自主財源の確保は大変厳しくなっている。「最小の予算で最大の効果を出す」と非常に美しい言葉を使っているが、人件費も例外ではなく、最小の人件費で最大の行政サービスを市民に提供しなければならぬ。人件費は合併以来、定員適正化計画によって職員数は大幅に削減され、また、指定管理者制度等の導入によるアウトソーシング効果によって、現在は合併当初より約2億2000万円削減されている。しかし、市民1人当たりの人件費で見ると、平成18年度は約9万4000円、平成29年度は約10万4000円で1万円多くなっている。また、正規職員数は削減されても、逆に非正規職員数は増加し、その合計職員数は合併当初よりも増加している。今後の人件費について、市長はどのように

考えているのか。

**市長** 本市のように、人口減少が進む一方で、人口が減っても直ちに変わることもない広い行政区域を引き続き維持しなければならない自治体は、市民サービスを低下させないためにも、単純な人員の削減による人件費の削減は、困難であると考えている。これを踏まえて、時間外勤務の縮減をはじめ、どのようにして人件費の総額を削減していくのか、また、人件費を削減する中で、どのようにして優秀な人材に西海市を選んでもらい、市民サービスの維持、向上につながる最低限の体制を確保していくのかについて、これらのバランスに必要な視点を見定めていく必要がある。また、来年4月施行の会計年度任用職員制度の導入に伴い、非常勤特別職および同一一般職ならびに臨時的任用職員の処遇改善を図る必要が生じるため、人件費の増加が予想されている。

その他の質問

- 地場産業の支援について
- 松島架橋について



西海市役所本庁舎



うちのしげき  
**内野 繁樹** 議員

## 西海市地域医療の確保について

**問** 市長は平成31年第1回定例会での施政方針において、総合的な医療供給体制の構築を図ると表明した。そのためには、医療政策班を中心として全庁的に取り組む必要があると考えるが、取組みの具体的な内容と実施時期について伺う。

**市長** 4月に新設した医療政策班では、市内の各医療機関を訪問し、現状や要望、アイデアなどを伺うとともに、長崎市や佐世保市が運営する急患センターの視察、佐世保市消防局からの救急搬送の情報収集、県や西彼杵医師会、長崎県看護協会からの情報収集、外部委託によるレポートデータを活用した分析調査を関係部局と連携し、実施している。

**問** 西海市医療検討委員会の開催等、実施状況を伺う。

**市長** 昨年度は2回開催した。今年度の第1回目を8月1日に開催し、本市の医療提供体制について諮問する準備を進めている。

**問** 福医会との定期的な会合の経

過を伺う。

**市長** 5月21日に西海医療福祉センターで本年度1回目の協議を実施し、移譲時の合意事項について状況を確認し、速やかに実行するよう要望した。



## 子どもの貧困について

**問** 平成31年4月26日付け長崎新聞で、県全体の子どもの貧困率は11.2%との県の調査結果が公表されていた。本市の状況と対策等について伺う。

**市長** 貧困率の本市の状況は14.0%であり、県全体の割合より2.8%高い。また、同調査によれば、暮らしの状況を大変苦しい、またはやや苦しいとした小学5年生の保護者の割合は5割近くあり、特にひとり親世帯では77%に達する。

本市では、子育て支援として行ってきた多子世帯に対する保育料の無償化や小・中学生を対象とした福祉医療費の給付などに加え、副食費の助成等多子世帯を対象とした支援の充実を図ると共に、ひとり親家庭に対しては、母子・父子自立支援員を中心として就業支援や子どもの養育相談などのきめ細かな対応に努めている。



# 一 般 質 問



たがわ まさき 議員  
**田川 正毅**

## 「芸術のまちづくりを！」

**問** 空き教室・校舎をアトリエとして画家・芸術家を目指す方に提供し、「芸術のまち西海」をつくる考えはないか伺う。

**教育長** 教育委員会では文化・芸術の推進を市総合計画に挙げています。芸術施設の効果的な整備活用を図り、市民の文化芸術活動の活発化を推進する方針である。

空き校舎・教室を芸術家に提供することは、交流人口や定住人口の増加も予測される。芸術家や市民協会で「芸術のまち西海」を目指すことができるかと考えている。対象となる空き校舎は、耐震性が確保されている松島と雪浦小幸物分校であり、公有財産活用推進本部で承認されれば提供することは可能と考えている。

**市長** 「スケッチのまち崎戸」を崎戸町時代に実践し、子どもたちの絵画の能力が目覚ましく向上した。市全体で取り組みが素晴らしい効果があると思う。若い芸術家達が集まれば活性化が進むと考える。

**問** 日本の油絵会の第一人者も全面的に協力したいと言われている。「お金がないなら知恵を出そう」、「前例がないならパイオニアになろう」の精神で取り組んではいかがか。

**市長** 音浴博物館などの環境を考慮すると、「芸術のまち」構想は非常にマツチとしているので検討する。



雪浦小学校幸物分校

## 「定住促進対策について」

**問** 大瀬戸町緑ヶ丘住宅団地（旧電源開発団地）の分譲事業も含めた住環境整備計画について伺う。

**市長** 若い世代が住みたいまちづくりに力を注ぐ。「パールタウンせいひ」に15区画を追加造成、緑ヶ丘宅地分譲事業では整備を行い17区画を分譲する計画である。

**問** 西海市の人口は約20年後に1万人減少し、1万7千人になると予測されている。さらなる対策が必要では。

**市長** 民間活力を活用するために、民間事業者が賃貸住宅を建設する際に行政支援を情熱をもって行いたい。



ふちせ えいこ 議員  
**瀨 栄子**

## 「こども医療費助成を高校卒業までに」

**問** こども医療費助成の対象を18歳到達後の最初の3月31日までに拡充する考えはないか。

**市長** 本年10月からの国による幼児教育・保育の無償化が決定したことで、市が独自で負担していた保育料軽減にかかる財源を他の児童福祉施策に振り分ける見通しが立ったことから、来年度の当初予算への計上を検討する。

## 「スマイルワゴンの運行方法見直しを」

**問** 店舗や病院などの位置を考慮し、隣接する地区の重なりを認めるエリアの見直しはできないか。

**市長** 現在の運行状況を分析しデータの集約を進める中で、乗継ぎによる利用範囲の拡大など、



さいかいスマイルワゴン

今後、運行方法の見直しを検討する。

## 「大瀬戸コミュニティセンターのトイレの改修を」

**問** 狭い・暗い・使いにくいとの声が寄せられている大瀬戸コミュニティセンターのトイレの改修をするべきではないか。

**教育長** 照明器具を増設する。

**市長** 協議をし、来年度改修を検討する。

## 「国保税の負担軽減を」

**問** 国保税の負担軽減として、仮に、日本共産党が発表した1兆円の公費投入をした場合、平成30年度の保険料率で試算した年収400万円4人世帯（30代夫婦子ども2人）のモデル世帯の国保税の年税額はいくらになるか。

**市長** 本市の国保税の年税額の試算は、約26万円となり約15万円の減額となる。総額1兆円の公費投入については、平成26年7月に全国知事会が国に対して要望しているが、方針は示されていない。今後、国保税の負担軽減策は、全国市長会を通じて国へ働きかけていく。

その他の質問  
●再生可能エネルギーについて





# 一 般 質 問



あきまさまさ 清水 正明 議員

## 良質な住環境の整備について

**問** 市営住宅等の空き住宅の今後の対応及び方針について伺う。

**市長** 広報誌やウェブサイトで、データ放送など活用し、空き家戸数の解消に努める。

**問** 緑ヶ丘団地宅地造成事業において、土地の買収は更地が基本と考えるが、解体する建物3棟を購入する理由を伺う。

**市長** 土地の購入について交渉する中で、建物も含めて購入することになった。価格は0円になっている。

**問** 西海町の親和銀行支店跡地の買収においては、更地買収が基本と考えるが、建物を購入する理由を伺う。

**市長** 遊休財産を市営住宅として活用できないか検討し、建物も一括して購入した。

## 道路行政について

**問** 国道202号線の川内く小迎間の道路改良工事が中断しているが、市としての対応を伺う。

**市長** この工事区間は、見通しが

悪く、交通量も多いため、早期完成を要望している。

**問** 西彼町八木原郷皆割石地区の市道においては、管敷設の復旧舗装が陥没し危険な状態にあるが、見解を伺う。

**市長** 現地確認の結果、早急に補修工事を実施する。

## 肥前大島港馬込地区周辺事業の埋立てについて

**問** 埋立て部分の地質調査はなされているのか伺う。

**市長** 近隣の地質調査を行った際の報告資料を参考としている。

**問** 埋立て土について、民間開発工事や公共工事からの残土を予定していると聞いているが、その公共工事とはどこか。

**市長** 長崎自動車道の芒塚から長崎及び西九州自動車道4車線化などの公共工事を予定している。



埋立用の切土が進む大島町真砂地区

## 農業基盤整備事業について

**問** 白崎地区基盤整備事業において、1期工事が完成し、みかん苗木約6000本を植栽したが、工事完成後、法面が大きく発生している。

**市長** 傾斜した面までを一筆とし、畑として地目認定し、課税することになる。

**問** 農地等災害復旧事業へ取り組むこととなった場合、個人負担金は、地権者と耕作者のどちらにかかるのか。

**市長** 個人負担金は地権者が負担することになる。

**問** 市道と個人所有地の境界はどこに設定される見込みか。

**市長** 工事後、地権者と道路管理者である西海市の双方で境界立会いを行い、境界が決定される。

**問** 基盤整備区域周辺の住民に対する説明は十分であるか。

**市長** 昨年度と今年度は工事着工前に1回ずつ関係住民への説明会を開いたが、今後も積極的に開催したい。

**問** 基盤整備区域からの排水に対



ながりょういち 永田 良一 議員

する個別の苦情、不安等に対する問題は残っていないか。

**市長** 現在のところ、苦情や相談などはないが、仮に相談等があった場合は県や土地改良区など関係機関とも連携し、住民の不安を取り除く対応を図っていきたい。

**問** 防風対策について伺う。

**市長** 県によると、事業計画には含まれていないため、今後土地改良区と協議し、事業計画変更による施設整備を検討したいとのことである。

**問** 2期工事で発生した5000立方メートルの工事残土を、客土等へ有効利用ができないか。

**市長** 土質的にも優れているので県と協議し、農業振興につなげたい。

## 防災対策について

**問** 昨年の風水害による被災件数と、そのうち、補助対象となり復旧した件数は。

**市長** 市道及び河川の被災件数は22件で、6月中に全て完成する。農地等の被害件数は39件で、災害復旧事業に採択された20件は7月までに完成する。園芸施設や畜舎等の被災件数は95件で、23件が補助事業に採択され、昨年度復旧完了した。その他、10月の台風で、平島漁港及び丸田漁港の浮き桟橋の一部に破損が生じ、国の災害復旧事業により復旧作業が完了している。



# 一般質問



議員 戸浦 善彦

**郷土を想うまちづくり、住み続けたい郷土である、ふるさと西海市と、子ども達の未来に想いをつなげるため、今、市長がすべきと考える次のことについて**

**問** 市の人口減に向き合うとき、市長が考え描くまちづくりについて伺う。

**市長** いかにもその減少に歯止めをかけ、現在の生活満足度を高めていくかということが重要であり、それを実現するために施策をしっかりと実行していくことが、私の最大の使命であると認識している。

**問** 西海市の目指す観光づくりについて伺う。

**市長** 本市の魅力である豊かな自然と食を生かした観光地づくりに努め、観光客のさらなる誘致に取り組む。

**問** 市の人口減と向き合うとき、教育長が考え描く学校づくりについて伺う。

**教育長** 学校規模の適正化と確かな学力をはじめとした生きる力の確かな育成を具体的方策と考えている。今後、大島西小学校及び崎戸小学

校の複式学級の解消と、大崎地区における小中高一貫教育の実現に向けた協議を進めていくこととしている。大瀬戸地区においても、学校のあり方を考える懇談会を設置し、学校、保護者及び地域の代表者と少子化に対応した活力や魅力ある学校づくり、学校規模の適正化についての協議を進めていきたい。

また、ふるさと西海の自然や史跡、文化等に触れる体験学習等を通して西海市に対する理解や愛着を深め、ふるさとを愛する心を育む「ふるさと教育」に加えて、ふるさとに密着し、ふるさとをの力を活用し、ふるさとで学ぶためのシステムとして、コミュニティ・スクール導入の研究も進めている。大瀬戸小学校では、昨年度から西海市初のコミュニティ・スクールとして活動しており、最終的には全小・中学校に広めていきたいと考えている。これらの取組を通して人口減に向き合いながら、子どもがどんな

時代、どんな場所でも自分の夢や憧れに向かっているよう力をつけていきたい。



観光振興を期待する南蛮船来航の地(横瀬浦)



議員 杉山 誠治

**本市における初期救急医療について**

**問** 本市における初期救急医療体制について、特に、夜間・休日等の病院の受入れと救急搬送の現状と課題を伺う。

**市長** 日曜日・祝日の昼間は西彼杵医師会による在宅当番医に担っていただいているが、夜間は佐世保市の急病診療所などを利用している。また、救急車での搬送は、平成30年の1年間で1201件、そのうち軽症患者は340件となっており搬送体制への影響も危惧されることから、適正な利用をお願いしている。今後、西海市医療検討委員会において、初期救急も含め、本市の医療供給体制を検討していく。

**公衆用トイレの整備について**

**問** 公衆用トイレについて、洋式・水洗化をはじめ全般的な改善状況と身障者用等、多目的トイレの整備状況を伺う。

**市長** 改善を実施した箇所は、西

海市役所の本庁舎、大島離島開発総合センター、大島大橋公園、西彼農村環境改善センター下、西海総合支所となっている。また、今後予定している箇所は、市役所第1別館の福祉事務所、若人の森野球場、崎戸さん元気らんど、西海スポーツガーデン運動場などである。現在134施設のうち、55施設に身体障害者用の多目的トイレが設置されており、今後も利用頻度の高い施設や高齢者の利用の多い施設から優先的にトイレの改善を進めてゆく。

**市道の補修について**

**問** 市道の補修について、行政区から要望書を出しても利用者が少ないなどの理由から補修されず、改善されていない箇所があると聞く。市民の安全・安心のためにも修繕を急ぐべき。

**市長** 行政区からの要望書の提出を受けた場合、現場等を確認後、内容の緊急性、必要性、地域の実情、予算措置等の状況を踏まえ、総合的に勘案した上で事業実施の可否を検討し、行政区へ回答している。利用者が少ないなどの理由から補修されず、改善されていない箇所があることだが、現地の確認を行った上で、通行に支障がある場合は、通行者の人数に関係なく、補修工事を行っている。





# 一 般 質 問



こじま とき 議員  
**小嶋 俊樹**

## 自治会等の活動について

**問** 全国的に持続可能な自治会や町内会活動の維持が課題になっている。本市においても人口減少や高齢化などで自治会や各種団体の人材確保が困難になりつつある。この問題は、行政はもとより、小さな共同体の文化的持続にも大きな影を落とす結果となりかねない。今後、調査研究する必要があると考えるが。

**市長** 昨年度から世帯数の減少等から自治会組織再編の動きがある。今後自治会再編について議論しなければならぬ事態が生じ得ると思うが、これまで培われてきた地域ごとの伝統文化をどう継承していくのか、統合、再編を検討する段階においては慎重に議論を重ねる必要がある。なお、今年度より新規事業として、地域運営組織研究を実施する。

**さいかい力創造部長** 地域運営組織研究事業は、地域の住民が自分達で問題を解決していくための支援であり、本年度は先進地を区長に見ていただく。

**問** 消防団や老人会など、各種団体の運営状況を把握しているか。

**市長** 消防団活動の充実・強化は喫緊の課題で、消防団加入促進のポスターの提示やリーフレットの配布などPRに努めてきた。今後、消防団加入促進の啓発を初め、市内事業所に勤務する市外在住者の入団も視野に取り組む。

老人クラブは新規入会者の減少や脱会による会員の減少、年齢による身体的な問題による活動の縮小など課題があるようだが、連合会の下部組織である単位老人クラブ73クラブの運営状況の詳細については把握していない。

**保健福祉部長** 各老人クラブの運営は厳しくなっているが、市としては老人クラブ連合会に運営費を助成し、高齢者の健康と長寿につながる支援をしていく。



## 市道の維持管理について

**問** どのような維持管理が行われているのか。また、大雨により冠水するような道路や側溝蓋さえあれば、より安全に通行できる道路があるが、把握しているのか何う。

**市長** 市道の維持管理については、建設課職員及び今年度から増員した建設課作業員2名による道路巡回などにより状況を確認している。その結果、必要があると認められる場合には、除草作業や支障木伐採、路面及び側溝などの清掃、軽微な路面及び路肩の補修、安全施設の設置や建替えなど、建設課作業員4名にて対応している。

また、市民の皆様からの通報や行政区长から要望を受けた場合、建設課において現地の確認を行い、通行に支障がある場合、軽微な修繕等は作業員で行い、工事が必要な場合には建設業者に依頼し対応している。

除草作業や支障木伐採については、自治会や愛護団体のボランティア活動によって行っている市道もあり、



ひら い みつひろ 議員  
**平井 満洋**

大変感謝している。なお、建設課では市民の皆様から広く情報を得るために、「広報さいかい」で、道路に異状を発見した場合は建設課まで通報いただくようお願いしている。

大雨により冠水するような道路については、平成27年8月の台風13号時に西彼町内の一部の市道が冠水したため、路面のかさ上げ工事を実施したが、他の箇所では、大雨による市道の冠水の報告は受けていない。今後、冠水等により通行止めが発生した場合には、対策を検討する。

また、市道に側溝蓋が設置されていない道路があることは把握している。行政区長などからの要望があった場合は、現地を確認の上、整備の必要があれば設置を検討する。



側溝蓋がない市道

### その他の質問

- 大島地区工業団地整備事業について
- 長崎オランダ村について
- 職員の給与体系について
- 市長の市政に対する考え方について
- 第3次西海市食育推進計画について





## 総務文教常任委員会 所管事務調査報告

### 調査事件

大島地区工業団地整備事業

### 調査日程及び対象

平成31年4月22日(月)

さいかい力創造部

### 経過

委員会では、整備事業での埋立に係る土砂の搬入方法や当該工事に伴う騒音・生活環境への影響など事業の概要及び進捗状況において不明確な部分があることから、事業内容について調査を行った。

### 概要

平成31年度の整備事業は、主に工業用地の埋立工事や河川付替工事等で、埋立工事については全体で約180万立方メートルの土砂の受入を予定している。そのうち100万立方メートルは他の公共工事から発生する土砂や購入土を計画しており、既に約8万立方メートルを受け入れ埋め立てているものの、残りの土砂の確保については、現在、県と協議中とのことであった。

また、土砂の搬入方法は、主に海上搬入としているが、公共工事から発生する土砂の一部については陸上搬入を計画しており、シミュレーションを行った上で1時間当たりの搬入台数を決定することであった。

### まとめ

埋立工事に伴う土砂の確保については、一部未確定とのことであったため、速やかに埋立てに要する土砂の確定を行うとともに、土砂の調達については、購入土ではなく公共工事等から発生する土砂を活用するなど、事業費の抑制に努めるよう要請した。

当該事業は、県と合わせた総事業費約80億円ということで、西海市においては大規模な予算を投じた一大事業であり、地場産業の活性化をはじめ、雇用機会の創出など、これからの西海市の更なる発展に寄与する事業として市民からも大きな期待が寄せられている。引き続き、県や関連企業等との連携を深め、早期の事業完了を望むところである。

当委員会としては、今後とも進捗、周辺課題への対応状況等を把握するとともに、その過程で必要な提言を行っていく。



さいかい力創造部企業立地課より説明を受ける委員

## 産業建設常任委員会 所管事務調査報告

### 調査事件

本市における上下水道の現状と今後について

### 調査日程及び対象

平成31年1月21日(月)

水道部

### 経過

本市の上水道は、配水設備の老化が顕著で、一刻も早く将来に向けた取組みが望まれる。人口減少が進む中、水道事業の民営化や統合などの動きが全国的に見られており、本市においても、先を見据えた取組みが必要である。

下水道事業については、接続率が伸び悩む地区も見られ、下水道事業はもとより、環境への配慮といった観点からも接続率向上に向けた取組みが必要である。

当委員会においては、前述の事柄を踏まえ、本市の上下水道が抱える問題点の解決に向けた調査を行った。

### 概要

#### ● 上水道事業について

- ・ 給水原価は、簡易水道460円、上水道460円、トータル467円。
- ・ 供給単価は、簡易水道272円、上水道236円、トータル237円。
- ・ 管路補修計画

水道基本計画を策定し、年間約3

億円、10キロメートルを目途に古い管路及び漏水頻度の高い箇所から対応していく。

- ・ 平成29年度の水道使用料徴収率 上水道95・3%、簡易水道99・3%
- ・ 事業の広域化に向けた取組み
- ・ 平成29年7月に「水道事業の広域化に関する検討会」を立ち上げ、過去4回実施している。
- ・ 考察等

#### 水道事業計画を踏まえ、今後継続して調査していく必要がある。

- 下水道事業について
- ・ 平成29年度における市内全域における下水道接続率は、71・7%。
- ・ 平成29年度の下水道使用料徴収率は99・7%。

- ・ 下水道施設の補修計画について、農業集落排水については、平成4年より機能強化事業に取り組みしており、機能診断調査や最適整備構想、改築更新調査、施設の更新を地区別に段階的に行っている。
- ・ 考察等

接続率が高くなるよう努力していく姿勢が見られたが、既に下水道に接続していても担い手がおらず、下水道事業そのものの接続が危ぶまれかねない状況が予見され、事業全体の見直しも含め、今後の取組みを見守りたい。

## 全国市議会議長会表彰状伝達式

令和元年6月11日（火）に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、議員として在職15年以上と10年以上の表彰を受けた議員に対する表彰状伝達式が、6月25日の本会議終了後に行われました。受賞した議員は次のとおりです。

|         |    |    |    |
|---------|----|----|----|
| 議員10年以上 | 中尾 | 清敏 | 議員 |
| 議員10年以上 | 平野 | 直幸 | 議員 |
| 議員15年以上 | 永田 | 良一 | 議員 |
| 議員10年以上 | 宮本 | 一昭 | 議員 |
| 議員10年以上 | 朝長 | 隆洋 | 議員 |

（写真・右から）



# 市議会からのお知らせ

西海市のホームページから、西海市議会に関する各種情報を公開しています。  
定例会の日程や結果、会議録検索など最新の情報をご覧ください。

## ●議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）をしています。  
市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧ください。  
ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後1週間程度でいただけます。

## ●議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。  
市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例会市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。

## ●西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1：場所 本会議場（西海市役所本庁舎3階）
- 2：人数 60人まで
- 3：受付場所：本会議場前傍聴受付

- ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
- ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。



# 平成30年度 政務活動費収支実績一覧

「西海市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、当該会派の所属議員数に月額15,000円を乗じた額を1か月分として、会派に対し毎年交付しています。

単位：円

| 会派名      |          | ①<br>西海市議会<br>日本共産党 | ②<br>西風会<br>(H31.2解散) | ③<br>創生会 | ④<br>自民党眞湊<br>の会 | ⑤<br>保守無所属<br>の会 | ⑥<br>志政会<br>(H31.3解散) | ⑦<br>創造西海<br>(H31.3解散) |
|----------|----------|---------------------|-----------------------|----------|------------------|------------------|-----------------------|------------------------|
| 収入       | 政務活動費交付金 | 180,000             | 495,000               | 720,000  | 360,000          | 360,000          | 540,000               | 540,000                |
|          | 計        | 180,000             | 495,000               | 720,000  | 360,000          | 360,000          | 540,000               | 540,000                |
| 支出       | 調査研究費    | 30,380              | 0                     | 0        | 0                | 0                | 4,400                 | 528,385                |
|          | 研修費      | 6,460               | 236,124               | 502,739  | 358,602          | 0                | 297,636               | 0                      |
|          | 広報費      | 133,526             | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 5,000                  |
|          | 広聴費      | 0                   | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 0                      |
|          | 要請・陳情活動費 | 0                   | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 0                      |
|          | 会議費      | 0                   | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 6,000                  |
|          | 資料作成費    | 5,859               | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 0                      |
|          | 資料購入費    | 3,100               | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 7,000                  |
|          | 人件費      | 0                   | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 0                      |
|          | 事務所費     | 0                   | 0                     | 0        | 0                | 0                | 0                     | 0                      |
| 計        | 179,325  | 236,124             | 502,739               | 358,602  | 0                | 302,036          | 546,385               |                        |
| 政務活動費返還額 |          | 675                 | 258,876               | 217,261  | 1,398            | 360,000          | 237,964               | 0                      |

① チャンネルを  
NBC長崎放送  
に合わせてリモ  
コンの④ボタン  
を押す

② 「自治体情報」  
を選択し、リモ  
コンの緑のボタン  
「地域選択」を押  
した後「西海市」  
を選択

③ 7項目から1項  
目選択

④ 確認したい内  
容を選択すると  
右側に詳細が表  
示される



地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。(実施している他自治

体の情報も閲覧可能) 配信時のアクセス集中による通信障害の心配もありません。7項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。ぜひ活用ください。

西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！







大島町在住

今村 昭利

### 若者が住みたく なる地域づくり

#### ●子育てしやすい環境 づくり

- ①地域にスポーツや文化が根付き、子どもや、その保護者と地域の人との交流が深い。
- ②地域に住宅建設用地が確保され、若者も容易に購入できる。
- ③地域に住宅団地があり若者も容易に入居できる。

#### ●大島町太田尾地区の事例

子どもから高齢者まで対象に、各種行事(①新春マラソン大会、②鬼火、③節分豆まき、④ふれあい運動会、⑤盆踊り大会、⑥敬老文化祭、⑦公民館便り発行、⑧ふるさと便り発行)を継続的に実施しており、子ど

もたちは豊かな心を育み健康的に育っています。また、大島町内で開催される地区対抗のペーロン大会、バレーボール大会、運動会、ソフトボール大会には地区全員が若者のつもりで参加し活躍しています。

このような活動を実施しながらも、やはり、子供の減少、高齢化に悩んでいます。よって、打開策を提案したいと思っています。

#### ●提案

遊休地は、公有地だけでなく民有地を含めて、市内各地に多くあります。有効活用できるかの全体的な把握も必要ですが、地域のやる気のあるところから、「遊休地活用実行委員会」を立ち上げ、その実行委員会に市役所、市議会が支援をしていく。

これにより、若者等に安価な土地を提供し、住宅建設に繋げることが出来れば、子供の減少や人口減に歯止めをかけることができるのではないのでしょうか。特に、Uターンを考えている人、西海市の素晴らしい景色に感動し、Iターンを

考えている人、大島造船所及び関連企業に勤めている人をターゲットに、地域の発信力を高めて勧誘につなげていければ夢が膨らんで行きます。

「遊休地活用実行委員会」が西海市内各地に生まれると各地域が活気づき、西海市の人口は、3万人を超える」と期待します。



太田尾地区体育部  
決起集会に4人の0歳児が参加

郵便はがき

8572392

郵送される  
場合は62円  
切手を貼って  
下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局  
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第55号)



裏表紙に  
西海市議会クイズが  
あるよ！議会だよりを  
よく読んで解答してね！

# 第11回 西海市議会 クイズ

## ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1) 令和元年第2回定例会で審議された議案の件数は？

- ① 10件 ② 24件 ③ 36件

(2) 「議案第41号西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について」の審査を付託された常任委員会？

- ① 総務文教常任委員会  
② 産業建設常任委員会  
③ 厚生常任委員会

(3) 令和元年度西海市一般会計補正予算の追加額は？

- ① 4億777万3千円  
② 6億888万4千円  
③ 10億999万5千円

(4) 第95回全国市議会議長会定期総会において表彰された西海市議会議員の人数は？

- ① 1名 ② 3名 ③ 5名

## 応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送りいただくか、お近くの総合支所又は市役所本庁議事事務局へご提出ください。

## 締切

令和元年9月6日(金) 消印有効(6日支所提出分まで有効)

## 特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、QUOカード(10000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

## 「個人情報取り扱いについて」

ご記入いただきました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。

第10回 西海市議会 クイズ解答

(1) ② (2) ①  
(3) ① (4) ②

## 編集後記

議員の任期は4年間、その半分が過ぎ折り返し、これを機会に広報広聴委員会のメンバーが交替しました。西海市議会も本年3月からネット中継が始まり議会の様子を伝える方法が増え、議場での傍聴にネット中継として、この議会日より。

今号の表紙は公募による写真を採用。議会クイズもあり親しんでいただいています。議会での活発な論議があつてこそ多くの方々へ読んでいただけるものと思っています。

また、市民のみなさんのお声を聞かせていただく「市民と議会のつどい」は9月定例会後に予定しています。昨年度は高校生のみなさんと商工会の役員さんからご意見をいただき、一般質問に反映させていただきました。

今後、みなさんからの議会への関心が高まるよう努めてまいりますので、どうぞ、よろしく願いたします。

(瀧瀬栄子委員)



議会広報広聴委員会

## 第11回西海市議会クイズ回答

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) | (4) |
|-----|-----|-----|-----|

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見



議会だより

No.55  
令和元年  
8月5日発行

発行責任者 ◎西海市議会議長  
編集 ◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸榎浦郷2222  
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化合物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。